

4月23日は《子ども読書の日》《世界本の日》

～ 4月23日から5月12日は《こどもの読書週間》～

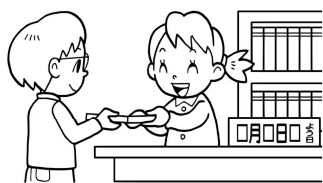
『いっしょによもう、いっぱいよもう』

4月23日は《子ども読書の日》です。平成13年に作られた‘子どもの読書活動の推進に関する法律’で定められました。

また、「子どもたちにもっと本を！」という願いから、《こどもの読書週間》が昭和34年に始まり、今年で63回目を迎えています。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人が子どもの読書の大切さを考えるとき、それが《こどもの読書週間》でもあります。

「本に親しむこと、読書の喜びや楽しみを味わうこと」が、子どもの豊かな成長にどれだけ大切かは、言うまでもありませんね。今年度は、昨年以上に学校と家庭で手を携え、子どもたちが「本っておもしろいなあ」「もっと本を読みたいなあ」と思えるような環境作りをしていきたいと考えています。

ちょうど《こどもの読書週間》とゴールデンウィークが重なります。なかなか外出ができない状況だからこそ、『メディアのスイッチを切って家族で読書をする』『読み聞かせをする』『親子で同じ本を読む』・・・などの時間を作ってみてはいかがでしょうか。また、学校は休みでも市立図書館は開いています。市立図書館で本を借りて読むのもいいですね。ぜひ、本に親しむきっかけが生まれる・増える、そんな《こども読書週間》になるよう、お考えいただけたらうれしいです。



図書室の本の貸し出しがスタート！

22日から、本の貸し出しが始まりました。本の貸し出しは、毎日昼休みに行い、「ひとり1冊、1週間まで」となっています。1年生は、6月より貸し出しがスタートします。

「学校でどんな本を借りてきたの?」「今日は何読んでいるの?」と、ご家庭で話題にいただけると、子どもたちの読書意欲も増すと思います。

全校で取り組みます！

- * 毎週木曜日の朝の活動(8:15～8:25)は、読書をします。
- * 各学年で活用している音読カードや学習カードに「読書」の欄を加え、家庭でも読書をする習慣がつくようにします。夕ご飯を食べてから、お風呂からあがったら・・・など、読書をする時間を決めるといいですね。(1年生はもう少したってから取り組みます。)
- * 『読みかけの本を身近に置く』ために、机の横に本バックをかけたいと思います。低学年は絵本が入る大きさ、3年生以上は国語辞典と本が入る大きさのバック(袋)の準備をお願いします。家にある物で十分です。